

＜東文研・ASNET共催セミナー＞

「フェミニズム」を語る

— 英米・日本・エジプトの視点を中心に —

1880年代にフランスで誕生し、20世紀後半の女性解放運動の総称として使用されるようになった「フェミニズム」という用語は、多くの国々でそのまま採用されてきました。

本報告では、そのうち、イギリス、アメリカ合衆国、日本、エジプトを事例として、この用語がそれぞれの地域でいつ使用され始めたのか、どのように定義されてきたのかを概観します。



また、各地域における定義や解釈の相違点と共通点を明らかにしたいと思います。

◆ 日 時: 2013年 11月 21日 (木) 17:00-18:00

◆ 報告者 サファー・ヌール 氏 (東洋文化研究所 訪問研究員)

◆ 会 場: 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

◆ 参加費: 無料 (申し込みは不要です)

東文研・ASNET共催セミナー

東洋文化研究所とASNETは毎週木曜日の夕方にセミナーを開催しています。どなたでもご参加頂けます。皆様のお越しをお待ちしております。詳しくはこちら: <http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

東大ASNET

検索

東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

